

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	事務スペースの扉や訓練室の区切りで見通せるモニターカメラの設置など行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	個別療育だが利用者1人に2人以上の体制が取れるよう努力している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関、トイレなど全てバリアフリーである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	職員間での情報共有に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎回来所持に保護者とのコミュニケーションを大切にしている。目安箱も設置している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	通信として全員に配布する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	法人の理事、監事による業務評価を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	業務に差支えないよう出来る限り参加する方向で検討している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	職員間の連携を図り保護者のニーズを共有して支援計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	個別療育の特色を出すため個々に合わせたアセスメントを取っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	セラピスト1人1人が自身の特性を生かしたプログラムを作成し、職員間で共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	同上
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	常に個別対応なので特に長期の休みでも変化はない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別に慣れた子どもから順次支援内容にグループの導入を図っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	セッション記録の確認など常に支援内容は事前に話し合うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	セッション記録を残し、問題点があればその都度振り返り支援内容の検討を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回記録を残して経過を見ている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6ヵ月毎に保護者に来所してもらい個々に聞き取りを行い支援内容を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	音楽療法に特化した中に個々の支援内容を組み込んでいる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	主に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	こちらからは保護者の要望に応じて文書で支援内容を知らせているが、学校側からの返事はない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療ケアの必要な児童は来所していない。保護者同伴の為、特にしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者、相談事業所を通じて聞き取りをしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者を通じて情報は開示している。音楽療法に特化している為、卒業後も継続した支援を行なっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援事業者連絡会などで情報の共有、研修の参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	クリスマス会などイベントを開催して、インクルージョンな活動をしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	事業所連絡会や交流会など積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者同伴で来所しているので、毎回情報交換や課題について話し合っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ママ・パパ・クラブの勉強会等を開催し参加を声掛けしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をして、その後は質問があれば個別に対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	セッション時や前後の時間に折をみて声掛けをし求めに応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	グループセッションで交流を計ったり、親の会の活動に出張して音楽活動を実施したりしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その都度、個別に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	不定期に通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	書面は鍵の掛かる書庫に、パソコンはパスワードで保護されている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	毎回の来所時にその都度対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	法人本部のイベントでは地域高齢者も参加する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	月に1回のミーティングで情報を共有して避難訓練はその都度実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	職員研修は外部研修に行く事も含めて、職員間で情報を共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者同伴であることや拘束を必要とする活動はないので、記載していない。危険を伴う行動があった場合は保護者と一緒に相談して対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事援助のサービスは行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ミーティングやその都度、職員間で情報は共有している。